

大和市肺がん検診を受ける方へ

- ☐ 肺がんは、日本のがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ☐ 検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。
市が実施している肺がん検診は、死亡率を減少させることが科学的に証明された有効な検診です。
- ☐ がんは、発生してから一定の大きさになるまで時間がかかる場合もあれば、急速に進行する場合もあります。大切な命を守るために、肺がん検診を年に1度、定期的に受けましょう。
- ☐ 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合は、がん検診を待たずに医療機関を受診し、医師に相談してください。
- ☐ 検診で「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。
がんは、症状が出るまでに時間がかかる場合がほとんどです。自覚症状がなくても精密検査を受けることが大切です。
- ☐ 痰の検査で「要精密検査」となった場合には、痰の検査だけをもう一度受けるのではなく、必ず精密検査を受けてください。
- ☐ がんでなくても「要精密検査」と判定されたり、死に至らないがんが見つかることがあり、結果的に必要性の低い治療を受けることになる場合があります。しかし、肺がんで亡くなることを防ぐメリットの方が大きいことが証明されています。そのため、検診を定期的に受診すること、精密検査を受診することが大切です。
- ☐ 肺がん検診の精密検査は、CT検査もしくは内視鏡検査などです。
CT検査:病変が疑われた部位の断面図をX線撮影して詳しく調べます。
内視鏡検査:気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し詳しく調べます。
- ☐ すべてのがんが、がん検診で見つかるわけではありません。検査では見つけにくいがんもあります。
- ☐ 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は市役所へ報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合、精密検査結果は、最初に受診した医療機関にも共有されます。
- ☐ たばこを吸わない人に比べて、たばこを吸う人は約4倍肺がんになるリスクが高くなるといわれています。また、喫煙者本人だけでなく、周囲の人も受動喫煙によって肺がんリスクが高くなります。ご自身と周囲の人の健康のために、禁煙しましょう。

この用紙はお持ち帰りになり、検診結果が出るまで保管してください。